



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月13日

上場会社名 アークランズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9842 URL <https://www.arclands.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長（ＣＯＯ） （氏名） 佐藤 好文
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 伊野 公敏 TEL 048-610-0641
半期報告書提出予定日 2026年10月13日 配当支払開始予定日 2026年10月19日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	183,522	7.4	9,938	17.1	10,059	19.3	5,921	9.7
2026年2月期中間期	170,933	7.4	8,488	△16.6	8,431	△17.1	5,397	△14.0

（注）包括利益 2027年2月期中間期 5,920百万円（7.4％） 2026年2月期中間期 5,514百万円（△16.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	94.26	—
2026年2月期中間期	86.64	—

（注）2026年2月期中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年2月期中間期の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期中間期	353,272	130,872	36.9	2,072.25
2026年2月期	343,929	126,171	36.5	1,997.87

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 130,184百万円 2026年2月期 125,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2027年2月期	—	20.00			
2027年2月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	5.6	17,000	31.1	16,500	29.3	10,000	68.0	159.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	64,733,372株	2026年2月期	64,733,372株
2027年2月期中間期	1,910,712株	2026年2月期	1,910,354株
2027年2月期中間期	62,822,780株	2026年2月期中間期	62,298,635株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
3. その他	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2026年3月1日から2026年8月31日まで)におけるわが国経済は、賃上げによる所得改善が見られるものの、継続する円安や原材料高に伴う生活必需品の値上げにより、消費者の生活防衛意識は依然として根強く、個人消費は伸び悩む推移となりました。

また、企業を取り巻く環境におきましても、人件費や物流費の増加によるコスト負担が継続しているほか、国内外の金融政策や国際情勢の変化など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、「くらし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに掲げる当社グループは、主力とする住関連(小売、卸売、不動産)と外食の両事業を深耕・発展させ、消費者の生活により近い形で網羅的な商品、サービスの提供に努めて参りました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高及び営業収入は191,503百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は9,938百万円(前年同期比17.1%増)、経常利益は10,059百万円(前年同期比19.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,921百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業の主力であるホームセンター部門においては、中東情勢や値上げ前の駆け込み需要を背景に、資材関連商品や日用消耗品の特需が売上を牽引しました。また、低温・多雨の影響でレジャー・園芸用品が伸び悩みましたが、米や防災用品の需要拡大が売上を下支えしました。

ペットでは、2025年6月6日を効力発生日として実施したペットファーストホールディングス株式会社の完全子会社化の影響により、売上高及び営業収入は前年同期比29.8%増となりました。

販売費及び一般管理費については、前年の新規出店(ホームセンター2店舗、ロピアフランチャイズ3店舗)の影響により増加となりました。

以上の結果、小売事業の売上高及び営業収入は152,088百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は5,286百万円(前年同期比38.7%増)となりました。

なお、2026年6月～8月の既存店売上高の状況は以下のとおりであります。

小売事業における2026年6月～8月既存店売上高前年同月比推移(%)

	売上高	客数	客単価	所見
6月	94.5	93.2	101.4	前年より日曜日が1日少なかったことがマイナスに働きました。また、低温・多雨の影響により、ファン付き衣料や季節家電、殺虫剤などの夏物商材が低迷しました。加えて、春先に需要が先行した反動も見られました。
7月	99.3	96.4	103.0	低温・多雨の影響でレジャー・園芸用品が伸び悩んだものの、空調関連や米などの販売が下支えしました。
8月	101.6	98.7	103.0	天候不順により夏物商材は伸び悩んだものの、米や防災用品の需要拡大に加え、冷媒管も好調を維持しました。

<卸売事業>

卸売事業におきましては、人件費の抑制をはじめとするオペレーションコストの低減に取り組みましたが、売上高及び営業収入は1,812百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は183百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

<外食事業>

外食事業における主力のとんかつ専門店「かつや」(国内)におきましては、前期からの継続した店舗のDX化の推進、新メニューの開発に加え5回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。一方で、計画に対する出店ペースの鈍化やキャンペーンにおける客数の伸び悩み等により1~6月における直営店の既存店売上高前年比は96.5%となりました。出退店につきましては、直営店3店舗の出店により6月末の店舗数は前期末から純増3店舗の509店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)につきましては、グランドメニューの改定による客単価の上昇に加え、4回のフェアメニューを実施いたしました。出退店につきましては、直営店1店舗の出店により6月末の店舗数は前期末から純増1店舗の160店舗となりました。

一方、コスト面においては、原材料価格の高騰に伴う原価率の上昇が利益を圧迫する要因となりました。

中食事業は、外部向け冷凍食品の需要拡大を背景に、好調に推移しました。

以上の結果、売上高及び営業収入は29,689百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は2,664百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

<不動産事業>

当社の不動産事業は、主に当社が開発した店舗のテナント賃料を収入源としています。これらの店舗には、核として当社が運営するホームセンターが出店しており、家電量販店、スーパーマーケット等のテナントを誘致し併設することで、相互送客の効果が生まれ、安定した収益を確保しつつ、店舗の集客力を向上させています。

不動産事業の売上高及び営業収入は7,305百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は1,642百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

<その他>

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」8店舗を含んでおります。当期4月にFIT365新潟東区大形店を出店した影響により、売上高及び営業収入は607百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は70百万円(前年同期比51.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の概況

(総資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して9,342百万円増加し、353,272百万円となりました。これは主に土地が9,043百万円、建物及び構築物が2,910百万円、受取手形及び売掛金が1,544百万円増加した一方で、商品及び製品が1,719百万円減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比較して4,642百万円増加し、222,400百万円となりました。これは主に長短借入金が10,068百万円増加し、未払法人税等が1,631百万円、買掛金及び電子記録債務が281百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比較して4,700百万円増加し、130,872百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益(5,921百万円)の計上等により利益剰余金が4,701百万円増加したことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して530百万円増加し、20,914百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、9,762百万円(前年同期は12,284百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益9,918百万円、減価償却費6,507百万円、たな卸資産の減少額1,707百万円、法人税等の支払額5,661百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、17,119百万円(前年同期は2,481百万円の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出16,677百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、7,886百万円(前年同期は7,604百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純増額12,144百万円、長期借入金の返済による支出2,075百万円、配当金の支払額1,256百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,403	20,935
受取手形及び売掛金	14,551	16,095
商品及び製品	56,284	54,565
その他	6,072	6,608
貸倒引当金	△214	△213
流動資産合計	97,097	97,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	109,686	112,596
土地	45,199	54,243
リース資産(純額)	16,766	16,266
その他(純額)	5,716	5,256
有形固定資産合計	177,369	188,362
無形固定資産		
のれん	17,865	16,942
商標権	10,493	10,165
その他	7,739	7,292
無形固定資産合計	36,098	34,399
投資その他の資産		
投資有価証券	3,272	3,359
敷金及び保証金	25,210	24,477
その他	4,941	4,743
貸倒引当金	△59	△62
投資その他の資産合計	33,364	32,519
固定資産合計	246,832	255,281
資産合計	343,929	353,272
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,698	35,843
電子記録債務	9,473	9,046
短期借入金	36,655	48,800
1年内返済予定の長期借入金	9,996	29,244
リース債務	1,797	1,782
未払法人税等	6,115	4,483
賞与引当金	2,108	2,226
株主優待引当金	277	289
契約負債	1,179	1,406
資産除去債務	0	2
その他	18,858	16,357
流動負債合計	122,160	149,482
固定負債		
長期借入金	46,052	24,729
リース債務	22,346	21,690
長期預り保証金	15,861	15,243
退職給付に係る負債	460	481
資産除去債務	6,358	6,327
その他	4,516	4,444
固定負債合計	95,596	72,917
負債合計	217,757	222,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	11,605	11,604
利益剰余金	109,645	114,347
自己株式	△2,571	△2,572
株主資本合計	125,143	129,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	450
為替換算調整勘定	△127	△124
繰延ヘッジ損益	50	15
その他の包括利益累計額合計	368	341
非支配株主持分	659	687
純資産合計	126,171	130,872
負債純資産合計	343,929	353,272

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	170,933	183,522
売上原価	106,129	113,731
売上総利益	64,803	69,791
営業収入		
賃貸収入	7,823	7,873
その他	140	108
営業総利益	72,767	77,772
販売費及び一般管理費	64,279	67,834
営業利益	8,488	9,938
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	16	20
仕入割引	33	31
為替差益	62	122
テナント退店収入	31	290
持分法による投資利益	83	79
その他	275	277
営業外収益合計	530	854
営業外費用		
支払利息	531	658
その他	55	74
営業外費用合計	587	733
経常利益	8,431	10,059
特別利益		
固定資産売却益	664	1
特別利益合計	664	1
特別損失		
固定資産除却損	43	24
店舗閉鎖損失	60	55
解体撤去費用	78	24
その他	47	38
特別損失合計	230	143
税金等調整前中間純利益	8,865	9,918
法人税、住民税及び事業税	6,588	4,091
法人税等調整額	△3,147	△121
法人税等合計	3,440	3,969
中間純利益	5,424	5,948
非支配株主に帰属する中間純利益	27	26
親会社株主に帰属する中間純利益	5,397	5,921

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	5,424	5,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	4
為替換算調整勘定	0	3
繰延ヘッジ損益	△2	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	90	△27
中間包括利益	5,514	5,920
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,486	5,894
非支配株主に係る中間包括利益	28	26

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,865	9,918
減価償却費	5,839	6,507
のれん償却額	885	922
賞与引当金の増減額(△は減少)	190	118
受取利息及び受取配当金	△44	△53
支払利息	531	658
固定資産売却損益(△は益)	△664	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,635	△1,544
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,541	1,707
その他の資産の増減額(△は増加)	△957	△642
仕入債務の増減額(△は減少)	4,569	△69
その他の負債の増減額(△は減少)	689	△1,940
その他	142	428
小計	15,870	16,009
利息及び配当金の受取額	37	47
利息の支払額	△507	△633
法人税等の支払額	△3,115	△5,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,284	9,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,099	△16,677
有形固定資産の売却による収入	20,593	2
無形固定資産の取得による支出	△749	△444
敷金及び保証金の差入による収入	△275	△66
敷金及び保証金の回収による収入	123	204
預り保証金の受入による収入	599	516
預り保証金の返還による支出	△64	△537
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,120	-
その他	△526	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,481	△17,119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	191	12,144
長期借入れによる収入	15,125	-
長期借入金の返済による支出	△20,773	△2,075
リース債務の返済による支出	△900	△924
配当金の支払額	△1,245	△1,256
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,604	7,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,160	530
現金及び現金同等物の期首残高	18,044	20,384
現金及び現金同等物の中間期末残高	25,205	20,914

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2025年3月1日至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	139,416	2,064	29,621	7,248	178,350	547	-	178,897
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	3,495	-	992	4,491	-	△4,491	-
計	139,419	5,560	29,621	8,240	182,841	547	△4,491	178,897
セグメント利益	3,811	236	2,585	1,727	8,361	46	80	8,488

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」セグメントにおいて、ペッツファーストホールディングス株式会社の株式を取得したことにより、当中間連結会計期間にのれんが3,523百万円発生しています。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2026年3月1日至2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	152,088	1,812	29,689	7,305	190,895	607	-	191,503
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	5	3,384	-	1,056	4,446	-	△4,446	-
計	152,094	5,197	29,689	8,361	195,342	607	△4,446	191,503
セグメント利益	5,286	183	2,664	1,642	9,776	70	91	9,938

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)		増減		(参考) 2026年2月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
卸売事業	2,064	1.1	1,812	0.9	△251	△12.2	3,891	1.1
小売事業	139,416	77.9	152,088	79.5	12,672	9.1	276,631	77.5
ホームセンター部門	133,528	74.6	141,818	74.1	8,289	6.2	262,321	73.5
建築関連資材・用品及 びD I Y関連用品	42,631	23.8	44,784	23.4	2,153	5.1	82,834	23.2
リフォームサービス	10,519	5.9	10,168	5.3	△350	△3.3	21,888	6.1
家庭用品	37,084	20.7	38,170	19.9	1,086	2.9	73,600	20.6
カー・レジャー用品	13,119	7.3	13,821	7.2	702	5.4	25,938	7.3
園芸用品	13,069	7.3	12,988	6.8	△81	△0.6	21,269	6.0
ペット	16,104	9.0	20,908	10.9	4,804	29.8	34,854	9.8
その他	1,000	0.6	975	0.6	△24	△2.5	1,937	0.5
その他小売部門	5,888	3.3	10,270	5.4	4,382	74.4	14,310	4.0
外食事業	29,621	16.6	29,689	15.5	68	0.2	60,793	17.0
不動産事業	7,248	4.1	7,305	3.8	56	0.8	14,631	4.1
その他	547	0.3	607	0.3	60	11.1	1,127	0.3
連結営業収益	178,897	100.0	191,503	100.0	12,606	7.0	357,076	100.0

(注) 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。